

# 第2次札幌市ICT活用戦略(案)

大都市税財政制度・DX推進調査特別委員会 説明資料  
令和7年(2025年) 1月24日



# 01 戦略策定の位置付け、戦略の構成と期間

## 戦略策定の位置付け

- まちづくりにおけるICTやデータの利活用を積極的に進めるための指針。
- 様々な分野の個別計画と一体となり推進する横断的計画として位置付ける。

## 戦略の構成と期間

### 基本戦略

R6(2024)年度～R13(2031)年度

第2次まちづくり戦略ビジョンのまちづくりの重要概念等を踏まえ、行政や企業等がICT・データ利活用に取り組むための「基本戦略」を定める。

### ICT活用施策

R6(2024)年度～R9(2027)年度

基本戦略の推進に向けて、札幌市が取り組む「ICT活用施策」を定め、施策に関連する個々の事業を取組として示す。

※ICT活用施策は令和9年度(2027年度)を目途に見直しを行う。

# 02

## 基本戦略とICT活用施策

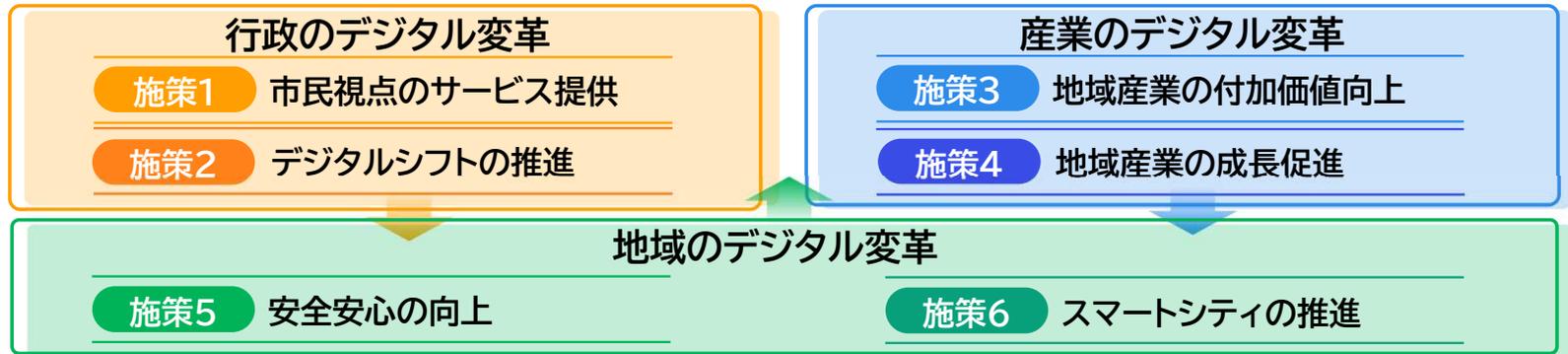
### 基本戦略 ～基本理念とICT活用の5つの視点～

デジタル変革の基本理念  
誰もが最適なサービスが受けられ、デジタルの利便性が実感できる「ひと」が中心のデジタル変革

- 行政・企業等のICT活用の5つの視点
- ① サービス利用者の利便性向上
  - ② オンライン化の推進
  - ③ クラウド第一原則の推進
  - ④ データ利活用の推進
  - ⑤ デジタル人材の確保・育成

### ICT活用施策 ～3つのDXの分野と6つの施策～

- 基本理念の実現に向け、「行政」、「産業」、「地域」の3つのDXの分野を設定。
- 「行政」、「産業」の4つの施策と、この4つの施策と密接に関連する「地域」の2つの施策にアクションプラン2023のDXに関連する計95の取組を位置付ける。



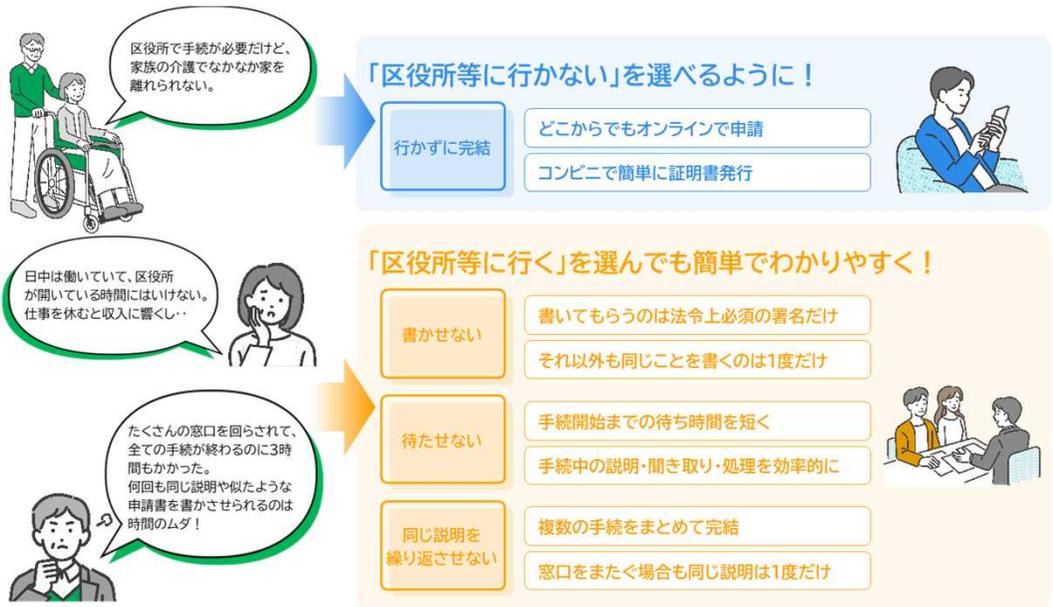
# 03

## ICT活用施策 ～各分野のDX推進に横断的に寄与する3つのリーディングプロジェクト～

### リーディングプロジェクト①

① 市民と行政の接点の変革

- 「区役所等に行かない」を選択できるようコンビニ交付利用者の増加。
- 引っ越しに関する手続きを一括でオンラインにより完結できるサービスの実装。
- 福祉や子育て分野のオンライン手続きの加速。
- プッシュ型の行政情報の発信の強化。
- オンライン申請の利便性向上。
- 「区役所等に行く」ことを選択しても、「書かせない」、「待たせない」、「同じ説明を繰り返させない」ように業務改革を推進。
- 複数手続きをまとめて受付する窓口の実現。



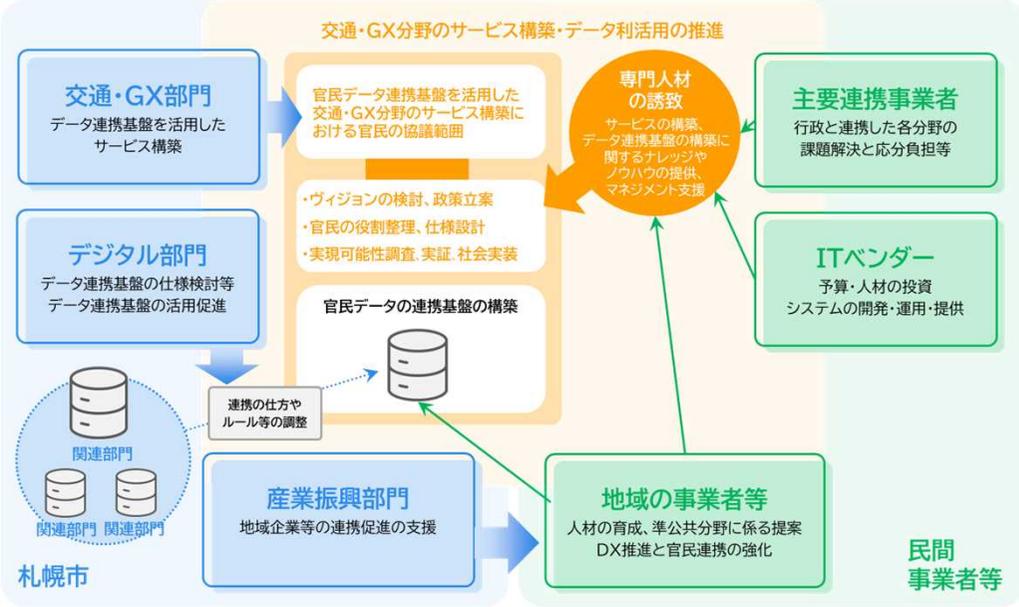
**こう変わる！**

- ・オンライン・来庁のどちらでも、市民一人ひとりがニーズに合ったサービスを選ぶことができる。
- ・市民一人ひとりに合った行政情報をプッシュ型で発信している。
- ・各窓口が、「書かせない」「待たせない」「同じ説明を繰り返させない」ようになる。
- ・複数の手続きをまとめて受付をする窓口が設置されている。
- ・ペーパーレスや業務改革が進み、行政事務が効率化され、職員のエンゲージメントが向上している。

## リーディングプロジェクト②

②官民データ連携の推進

- 個人情報の保護やプライバシーに十分配慮した上で、行政データの有効活用を進め、事務の効率化や施策の高度化に係る検討を進める。
- 交通・GX分野のデータ利活用の取組と併せ、官民データの利活用推進に向け、準公共分野(防災、健康・医療・介護、教育、こども、インフラ、港湾、モビリティ、農林水産・食関連産業の8分野)における事業者等とデータ連携基盤の構築・運営に向けた検討を進める。
- 市民生活に密接に関連する、防災、健康、子ども、モビリティ分野等において、官民データの有効活用や先端技術活用を進める。



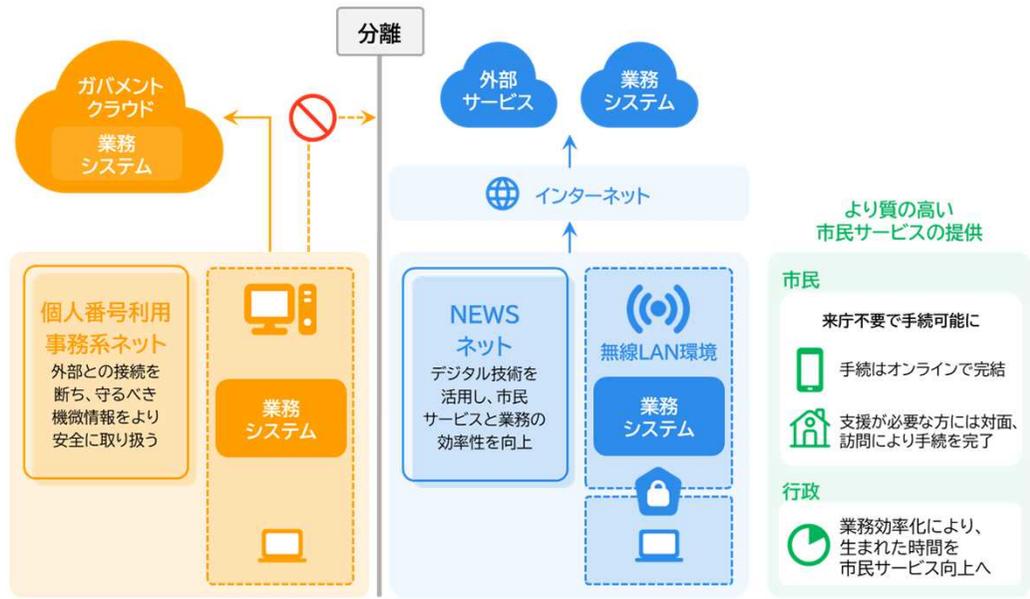
**こう変わる！**

- ・行政データの見える化・連携が進み、データ活用の取組が進んでいる。
- ・官民データを活用した準公共分野の新たなサービスが構築され、サービスごとのデータ連携が進んでいる。
- ・データ連携により行政、準公共分野の事業者の生産性が向上し、地域サービスの利便性が向上している。

## リーディングプロジェクト③

③ デジタルワーク環境の整備

- プロジェクト1、2を支え、クラウドを活用した業務改革とインターネットを最大限活用できる「NEWSネット」を構築。
- デジタルワーク環境を整備し、モバイルワーク等の柔軟な働き方を推進。
- 行政事務の効率化及び高度化に向け、生成AIの活用に取り組む。
- 紙資料の紛失防止や保管スペースの削減に取り組み、行政の信頼性向上と効率化を図る。
- 市民がスマートフォンやインターネット経由で様々なサービスが受けられるように、柔軟かつ迅速に質の高いデジタルサービスを提供。



### こう変わる！

- ・生成AIの活用検討が進み、行政事務が効率化されている。
- ・行政が保有する文書の電子化が進み、紙資料の紛失防止や保管スペースの削減が進んでいる。
- ・クラウドサービスの活用、システム内製化により、柔軟かつ迅速に質の高いデジタルサービスが提供されている。